

鉄研通信

清風学園
鉄道研究部発行
編集長 佐藤 吉原

運転体験会大成功



運転体験を楽しむかわいいお客様たちです

今年の文化祭は、全体的に去年以上に大盛況でした。とくに二日目のご来場者数は去年を大きく上回り、運転体験会にも多くの方が足を運んで下さいました。部員一同、心よりお礼申し上げます。

鉄道研究部は、毎年、隣り合わせで二教室を貸し切り、一つは巨大レイアウトによる運転体験会、そしてもう一つの教室では、合宿の様子や記念品などの展示会を行っています。お客様を飽きさせないよう、毎年、ちょっとした工夫を取り入れるよう部員一同心がけています。今年も、いくつかの変化がありました。まずは、レ

とくに小さなお客様に喜んでいただけたのが、「鉄研すごろく」です。これはおもに中学一年生が中心となって作ったものですが、大きなサイコロを振って楽しんでいただけた様子が印象的でした。さらに改良を重

一方、展示会場では…



新しく作り直したトンネルです

イアウト関係です。ようやくレイアウト台の修繕に向けて動き出し、手始めにかなり痛んでいたトンネルから取りかかりました。さらにはカメラカーの運転をもっと楽しんでいただくために、運転士気分が味わえる本格的なコントローラーを一台導入しました。

来年の文化祭に向けて

ね、ゲーム的要素を取り入れるなどして、来年に向けてさらに改良していきたいと考えています。また、鉄研すごろくを家でも楽しんでもらえるよう、印刷も考えています。

運転体験会だけでなく、展示会の充実に向け、部員の「自慢の一枚」の写真販売や、鉄道研究部オリジナルのカレンダーなど、部員からは多くのアイデアが出ています。どれも販売できるようないい作品にするべく、部員一丸となって取り組んでいきたいと思えます。

また、これはあくまで予定ですが、ご来場の皆様の生の声を少しでも反映できるように、来年からは簡単なアンケートも実施してみたいと考えています。自分たちで企画し作り上げたものを皆様に評価していただくことは、部員にとってもい

い刺激になると思います。もしアンケート実施の際には、皆様のご協力をお願い申し上げます。

次回の部会では、部員による文化祭の反省会を行います。そこで出されたものが少しでも改善でき、来年はさらに皆様に楽しんでいただけるような企画となりますよう、これからも清風学園鉄道研究部を応援していただければ幸いです。

最年少の中一生活部員も、文化祭を通じて大きく成長してくれました。これからはクラブの頼もしい戦力となります。さらなる活動にご期待下さい。



中1の新生活部員も頑張りました！！